

令和4年春の叙勲・褒章、第38回危険業務従事者叙勲 受章おめでとうございます

4月29日、令和4年春の叙勲・褒章、第38回危険業務従事者叙勲が発表されました。町からは、春の叙勲で瑞宝双光章が1人、春の褒章で藍綬褒章が2人、危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章が1人選ばれました。受章された皆さんを紹介します。

さ さ き し ゅ う い ち
佐々木照一氏

ず い ほ う そ う こ う し ゅ う
令和4年春の叙勲
瑞宝双光章を受章



長年にわたり文部科学省職員として貢献された功績が称えられ、佐々木照一さん（大沢）が瑞宝双光章を受章されました。

そ う ま ゆ き お
相馬幸男氏

らん じ ゅ ほ う し ゅ う
令和4年春の褒章
藍綬褒章を受章



長年にわたり町消防団員として貢献された功績が称えられ、相馬幸男さん（室野井）が藍綬褒章を受章されました。

ふ か さ わ り ゃ う い ち ろ う
深澤良一郎氏

らん じ ゅ ほ う し ゅ う
令和4年春の褒章
藍綬褒章を受章



長年にわたり保護司として貢献された功績が称えられ、深澤良一郎さん（水塩大久保）が藍綬褒章を受章されました。

お ぐ ら み さ お
小椋 操氏

ず い ほ う た ん こ う し ゅ う
第38回危険業務従事者叙勲
瑞宝単光章を受章



長年にわたり警視庁警察官として貢献された功績が称えられ、小椋操さん（下半俵）が瑞宝単光章を受章されました。

佐々木さんは、昭和48年4月1日に科学技術庁（現・文部科学省）に入庁し放射線医学総合研究所に配属後、文部科学本省、理化学研究所、日本原子力研究開発機構、宇宙航空研究開発機構、そして科学技術・学術政策研究所などで、主に管理業務に従事されました。平成21年に退職後も、環境科学技術研究所で12年間従事し、日本の科学技術行政に大きく貢献されました。

受章について、「帰りが遅い日ばかりで、家族に心配ばかりかけた。仕事に真面目に向き合ってきた証として、妻へプレゼントしたい」と、話してくださいました。

相馬さんは、平成3年4月1日に町消防団に入団し、今年で32年目を迎えます。入団後は、副分团长、分团长を歴任し、平成29年4月1日から副团长を務めるなど、生業の傍ら、献身的に消防活動に尽力され、地域住民の生命財産を災害から守り、地域の安全・安心に大きく貢献されました。

受章について、「大変光栄です。平成8年の操法大会では、仲間と力を合わせて全国9位に入賞した。消防団は消防活動だけでなく、新しい出会いや人とのつながりを築ける魅力がある」と、消防団への熱い思いを語ってくださいました。

深澤さんは、平成12年5月25日に保護司となり、今年で23年目を迎えます。これまで、罪を犯した人や非行に走った人たちの立ち直りを援助し、必要な助言や指導などに尽力されてきました。

また、平成27年5月28日からの約4年間、那須保護区保護司会の副会長を務めるなど、地域住民の更生保護行政において重要な役割を担ってきました。

受章について、「連絡を受けた時は大変驚いた。保護司は相談者の心の奥底を洗うことが使命。定年まで続けていきたい」と力強く話してくださいました。

小椋さんは、昭和46年4月に警視庁警察官を拝命されてから退職までの37年間にわたり、警察業務に尽力されてきました。

代々木警察署で勤務していた際には、現場で培った鋭い洞察力を存分に発揮し、連続放火事件を解決するなど、常に現場を大切に、社会の安全・安心のため大きく貢献されました。

受章について、「悪党をやっつけたという強い思いを持って警察官になった。これまで一生懸命に取り組んできたことが認められ、とてもうれしい」と、喜びを語ってくださいました。

タウントップックス

子育て・ほげんだより

生涯学習だより

図書館だより

タウンInformation

カメラスケッチ

みんなの広場

無料相談会・消費の豆知識

カレンダー